

■ステップアップサポートゼミ開始！

村内の中学生を対象としたステップアップサポートゼミ(公設学習塾)が7月12日よりスタートしました。基礎学力の向上、学習習慣の定着化、学校の授業の補完等を目的に、7月から来年1月まで、3年生20回、1、2年生10回の授業を無料で受講することができます。

運営は富良野市内に学習塾「英数学館」を開設しているNPO法人共育サポートに委託しており、公民館事業としてコミュニティプラザで行っています。



■パークゴルフ場のベンチが新しくなりました！

株式会社川端組(蠣崎武代表取締役)の地域貢献事業として、運動公園パークゴルフ場のベンチを修繕していただきました。

見違えるほど綺麗になりましたので、ぜひご利用ください。新しい環境でプレーすればスコアも伸びるかも！?



■忘れ物のご案内

7月2日に行われました平成29年度村民スポーツレクリエーション大会の参加者の皆様、大変お疲れ様でした。あいにくの曇り空でしたが、皆様の熱気で大いに盛り上がることができました。この場を借りてお礼申し上げます。

さて、レク当日にジャージの上着の忘れ物がありました。教育委員会で保管しておりますので、お心当たりの方は社会教育担当(56-2183)までご連絡をお願いいたします。



■アンケートのご協力ありがとうございました

7月に行いました社会教育計画策定に係るアンケートにご協力いただいた皆様本当にありがとうございました。皆様からお答えいただいたアンケートは、占冠村らしい社会教育計画策定のための貴重な資料として活用させていただきます。

現在集計中ですが、アンケートの提出はまだ受け付けておりますので、提出をお忘れの方がいらっしゃいましたらお早めをお願いいたします。

【野生動物対策の状況について】

村内の野生動物に関する情報をお知らせいたします。

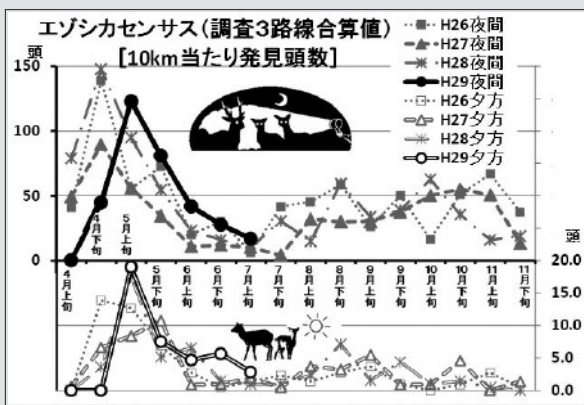
エゾシカ

どのシカもすっかり夏毛に換わり、盛夏の緑に橙色と白斑が鮮やかです。今年生まれの子ジカもずいぶん大きくなりました。

6月の駆除捕獲数は34頭で、4～5月と同様、例年より2割の減少です。獲って減らせた結果と思いたいところですが、調査の結果、発見数は過去3年と同等の水準で、まだまだ油断できません（下図）。目下、短期的な捕獲数の低下は、捕獲従事者の活動頻度の影響と考えられています。村のハンターの実働人数は多くないため、出動を減らせば、即、全体の結果に響きます。今後、猟区管理や有効活用も含め、どのような体制づくりがよいか、検討していきます。



シカの親子（7/7中央）



■お問い合わせ

林業振興室 電話 56-2174

ヒグマ

7月に入り、ニニウで列車と接触し小型のヒグマ1頭が死亡しているほか、上トマムの青森団体線近くで活動が多くなっています。

中央地区と占冠地区で、デントコーン（飼料用トウモロコシ）の作付け場所が、昨年とは一部変わっていますが、これから9月にかけて侵入シーズンです。ヒグマがどのような動きを見せるか注視していきますが、皆様も付近を歩く際はご注意ください。

ヒグマ情報の多くは平凡で話題性のないものですが、こうした日頃の情報に触れていただくことが、皆様のお役に立つと考えています。普段のヒグマの状態を知れば、上手にヒグマと距離を取るにつながりますし、もし異常性のある危険なヒグマが出現した時に、そのことをより早く察知することにもつながるからです。身近な出没情報は、広報折込のほか、村のホームページにも掲載しています。

アライグマ

今年度の駆除は、7月中旬現在で3頭です。住民からの情報提供により捕獲できた例もあります。



捕獲したアライグマ（7/6中央）

引き続き、目撃、痕跡情報、防除のご相談をお待ちしています。

こちら駐在所



です

占冠駐在所
56-2110

■水難事故防止

海や川 危険もいっぱい ご用心

- (1) 波の力で倒されたり、沖に流される危険があります。
- (2) 水辺で遊んだいる子どもの近くから離れず、目を離さないようにしましょう。
- (3) 海水浴場などの指定された場所で、自分の技量や体力に応じて泳ぎましょう。
- (4) 遊泳禁止区域ではどのような危険があるかわかりません。
- (5) 体調不良時や飲酒しての遊泳は事故の元です。無理をしたり、お酒を飲んで泳がないようにしましょう。
- (6) 釣りをするときには、救命胴衣を必ず着用し、安全な場所で行いましょう。
- (7) 高波時の防波堤、流れの速い岸辺、滑りやすい岩場は避けましょう。
- (8) 水上オートバイは遊泳区域に入らないこと。
- (9) 遊泳者などに注意するなどの安全航行に努め、救命胴衣を必ず着用しましょう。

